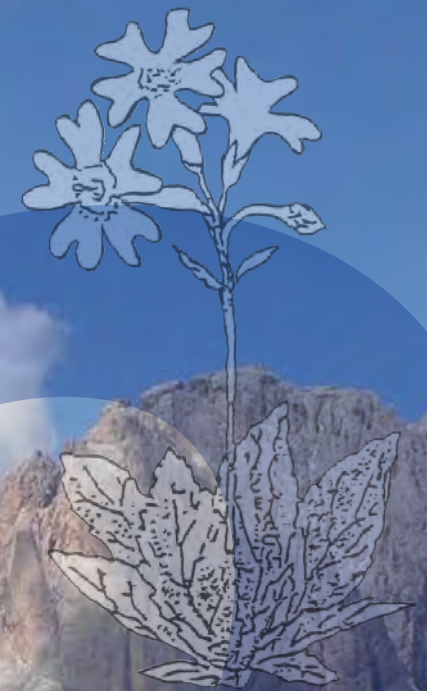


PRIMULA CUNEIFORIA BULLETIN



Primula

発行所: 東京都八王子市散田町3-38-6B primula.ac@gmail.com <http://primula.mizunodesign.com> プリムラ山の会(通巻99号) 2015年9月3日発行 発行人: 大坪邦久 編集/デザイン: mizunodesign.com

プリムラ山の会

Primula99

contents

In a Shot	岡 孝雄	02
99 号のお題：山行記録、つけてる？		03
赤嵩尾根から鳥甲山	たいら まり	04
白馬岳の連休	たいら まり	06
ドロミテ 2015	桜井 弘	09
ボリビアの夏休み（冬か） その 1	初鹿 裕康	12
四十八滝沢と三ツ峠クライミング	佐藤 正俊	17
北岳バットレス D ガリー奥壁	佐藤 正俊	18
東北の山旅 2015	北原 浩平	20
剣岳、チンネ左稜線	佐藤 正俊	24
子連れハイク No.25	市瀬 江利子	27
季節始めの沢登り	たいら まり	30
景色を見ながら！	初鹿 裕康	33
なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。	水野 奈保美	35
山行一覧		37
編後記ですよ		40



Primula

99

In a shot

コンコルディアに憧れて

岡 孝雄

アスコーレより8日間かけて、モレーンを越え辿り着いたコンコルディア。この地に着く前に想像していた「秘境・広大・別天地・ユートピア・憧憬」との予想を裏切らない光景が広がっていた。後に聞いたり調べたりした結果コンコルディアとは古代ローマの「協調・相互理解・婚姻の調和の女神の名」「アルプス・ベルナーオーバーランドにある氷河合流地点と景観がよく似ている為、探検家が名付けた」との事だった。

想い返せば三十台の若い頃、西隣にある「ヒスパ山群」に遠征を企てたが中心的メンバーが冬の不帰岳↑峰尾根に退き計画は中途となり、その後この山域は入山規制が掛ってしまった。今回も本来なら昨年の予定であったが、参加メンバーの休暇問題があり本年実施となった。こんな訳で三十年以上も温めてきた憧れであり、体力的にも最後のチャンスかもしれないとの思いで臨んだ。

余りにも山が大きすぎるのか？それとも周囲全体が山々で囲まれ、広大過ぎるのか？とても「8000m級のジャイアンツが凜立」しているように感じない。今まで多

くの写真を見過ぎていたのかもしれない。ファインダーを覗き込んでこの印象は変わらなかった。圧倒的大きな山の存在を、どうしたら臨場感・重量感と迫力のある自分の作品にできるのか？少々焦りが湧いてきたが最後まで解決しなかった。結局「山に飲まれた・写真を撮らされてしまった!!」ということだったようだ。

日本やネパールと違い、荒涼とした地の奥に聳え立つ雪と岩の高峰群。朝夕の色付きの変化・気ままな雲・月光と星空の暗蒼の空間・風と雪崩の音。テントから首だけを出し自由な時間を貪った。

めったにないとの三日間の晴天を甘受した後の下山は、高温・乾燥・粉塵に大いに悩まされ、体力の消耗を強いられた。スカルドからイスラマバードまでの「荷物の積み忘れ」を除き、順調すぎる経過で無事故無事件で帰国することができた。

2015.08.06

16mm 画角(フルサイズ) コンコルディアにて
左-K2(8611m) 中-ブロードピーク(8047m)
右-ガッシャーブルムG IV(7925m)

Page

2

vol.99 のお題 山行記録つけてる？

山行記録はつけてるというか、写真をなるべく撮って、行動時間なんかは、それを頼りにしてます。本当はすぐに原稿を書けば良いのだけど、大抵は締め切り近くなったお昼休みに、会社でせつせと書いてます。(E. I.)

付けていない。原稿を書くときに困るが、付けようという気があまりない。ただ面倒くさい。(M. T.)

基本メモしてますが何か。インドアもアウトドアも。あ、インドアは最近か。ウェブ黎明期はデータベース cgi 拾ってきて、いろん～なデータが検索できるようにしてたけど、何度もサーバー移行してるうちに動かなくなったりして放置プレイ（あれは本当に良く出来ていた：自画自賛）。トレラン行ったら GPS データ取って地図に落したりするけど、だから何？的な。凝る→飽きるの無限ループってとこすかね。そういえばプリムラ初期はよくまんがで描いていたなあ（名作多数：自画自賛 2）(N. M.)

山行の後、必ず A4 様式 1 枚に日時、登行者、印象及び行程を記入し、計画書や写真、資料とともにクリアブックで保存してます。因みに H26 年は山行 44 回、日数 65 日でした。(M. S.)

つけてる。室内⇒最初は「日付」「場所」「練習時間」「グレード」「そのグレードを登った回数」。最近、最高グレードで新しいルートを完登する度に記録している。岩場⇒トボに「完登日の日付」と「完登までの回数」を記録。(R. O.)

もちろん高校でワンダーフォーゲル部に入った時からつけてます。第 1 回目の山行は奥武蔵の武甲山でした。今そのノートは 15 冊目。山行回数は湯村山で 1591 回目となっております。自分の登ったバリエーションルートの確認などの役に（たま～に）たってます。(H. H.)

記憶をたよりに、下山メールなどに書いたものをベースに報告記録を書いている。デジカメの写真データで確認できるけど、面倒くさいのでほとんどやっていない。iPhone の地図アプリで GPS データが取れるのだが、バッテリーの持ちが課題で、日帰り山行が限界かな。(K. K.)

Primula 99

赤嵯尾根から鳥甲山

・・・たいらまり



雪稜感満点



雪を選んで歩く

日程：2015年4月25日～26日

山域：信越・鳥甲山

メンバー：平、他1

コースタイム：

25日：10:30屋敷部落---15:30赤嵯尾根1800m付近

26日：06:00---06:40鳥甲山山頂07:00---7:30幕営地
---11:00屋敷部落

少し遠いけど、2日間のお休みを使って鳥甲山へ。
高速道路を下りてからが長く、おまけに通行止め
があったりして、秋山郷、赤嵯尾根の登り口につ
いたのは、10時を過ぎてしまった。

お天気は良い。山ノ神の先のトンネルを超え、津
南町へ続く道との分岐、除雪終了点から歩き始める。

平坦な林道歩きを20,30分ほど経て、登りへ。
道の脇にはふきのとうがいっぱいで、気をとられて
仕方がない。登山道は次々と現れる堰堤を、迂回
するようについている。最後の堰堤を超えてからが
急な傾斜。ルンゼをかなりがんばってキックステッ
プで登るが、稜線も見えかけたころ、我慢できず
に木の根元でアイゼンをつける。前爪が使えてあ
りがたい。

予定のコースタイムより早く稜線に出られたのは、
この急なルンゼのおかげか。若干山頂寄りに出た
らしい。それからは、所々夏道が露出した登山道
を歩く。左手にはえぐれたような岩壁、ただし稜
線上はずっと樹林で出たり入ったりしながら、時に

藪漕ぎ。そろそろ日が傾いてきたころ、地形図で目星をつけておいた、山頂の見える鞍部にテントを張る。見渡すかぎり誰もいない。

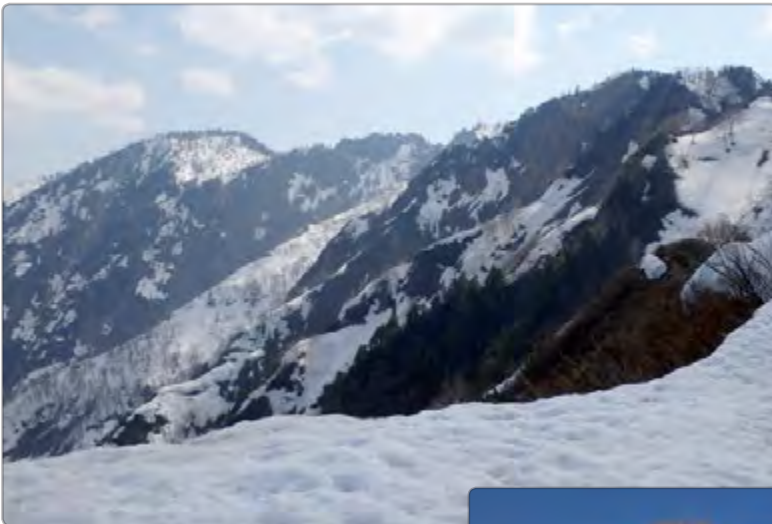
夜は、牛肉を使ってボルシチ（一度作ってみたかった）。生ものを持ってあがれるのもあとわずかな期間しかない。重たいジャガイモだけは省略。お酒もわずかながら背負ってきたので、ささやかに宴会後、就寝。

翌朝も晴天だった。朝食をつくってもらって済ませ、荷物はデポしたまま出発。起床から2時間弱くらいかかって出発したのは6時くらい。手前の小

さなピークを越えると間もなく山頂。存分に景色を楽しんで、下山にかかる。日当りは良すぎるくらい。

ベースに戻って、再び荷物を背負い下山。岩場を右から回り込むちょっと緊張したところもあったが、ピッケルを使って難なく通過。稜線から下るところは、ちょっと迷い、あえて登りと違うところを降りるが、行き詰まる。ダブルアックスにして、後ろ向きの下り。登りのルンゼに戻って、傾斜が緩くなると一気に下りられる。

またもや堰堤を迂回しながら、今度はふきのとうを物色してのんびり下るが、お昼前には車に着いた。帰路も長いのでまっすぐ帰宅。夕飯のふきみそを作るにも十分な時間に帰宅した。次回は白崙尾根に。



尾根全景



雪どけ

Primula 99

白馬岳の連休

・・・たいらまり



小蓮華尾根へ



数珠つなぎ

日程：2015年5月3日～6日

山域：北アルプス

メンバー：平、他1（小堀、初鹿、山里、栗原と合流）

5月3日：白馬尻BC

ほかのメンバーとは1日遅れの5月3日に白馬尻のBCへ、私と同行者1。猿倉からは1時間程度。先発隊は双子尾根を登りに出かけていて、テントは空。良い天気を羨みながらも、8人テントの側を整地して、テントを張る。外に出て、雪のテーブルとイスの形を整えながら、先発隊の帰りを待つ。夕方、3人と合流すると早速宴会に。

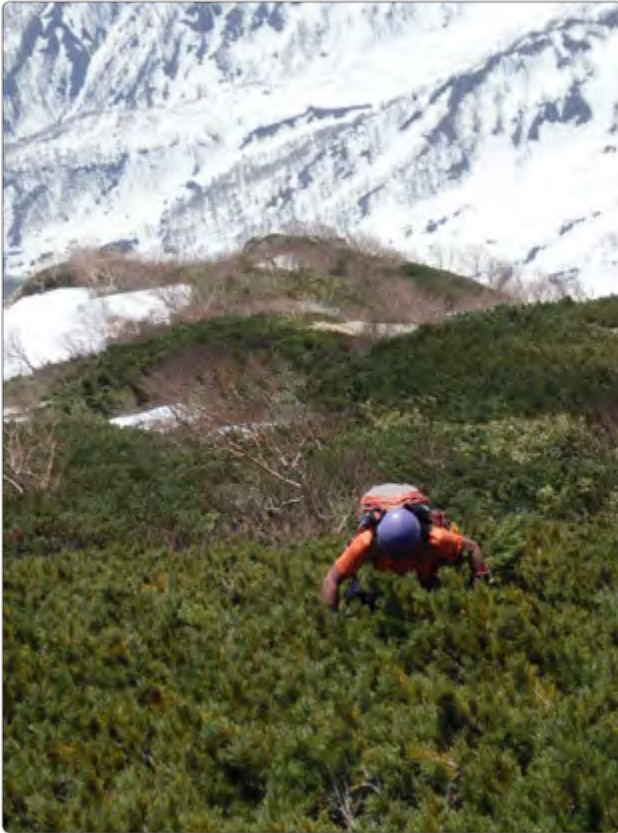
きょうは山さんも来る予定だったが、猿倉プラトーに着いたけど、誰もいないので引き返す、とのメール。慌てて電話をかけ、くどくどと場所の説明

をする。やっと大雪溪の下の方に、その姿を発見。電話が通じて良かった。

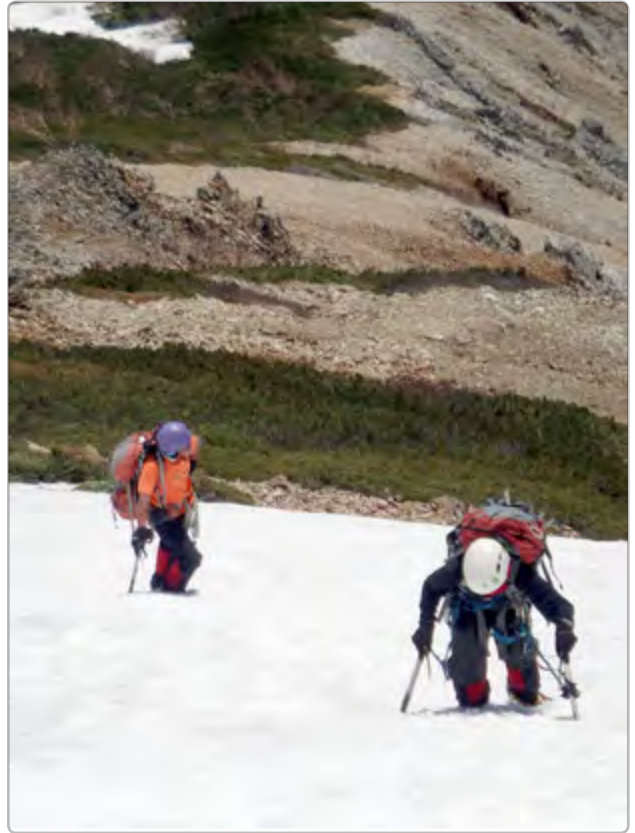
2次会は大テントに入れてもらって、翌日の計画を立てる。予報はあまり良くない。白馬鎚温泉に行くという話もあったが、あまりにも遠い。双子尾根に行くつもりだったわれわれ2人は、とりあえず双子岩まで行くことにした。

5月4日：双子岩まで

朝は晴れ。もしかして早起きすれば行けた、と思いきやすぐにどんよりした曇り空。スキーマの初鹿さんと山さんとともに双子尾根目指して、トラバース気味に斜上。すでに小雨気味。いつものように山さんがずんずん登る。ちょっとした高台に乗り上げると、いったん急降下して、また登り返す。スキ



藪漕ぎ



もうすぐ稜線

一の2人は、登り返すことなく長走沢をそのまま滑っていった。

小雨のなか登りきると、双子岩。テントが2-3張り。登ってきた道をまた下り、今度は、谷筋を若干下って、登ってきた尾根を回り込むように、BCを目指す。ずっと体が斜めになっている感じで歩きづらいが、下の猿倉近くまで降りたスキー組をよそに、早めにベースに戻った。きょうも皆の帰りを待って、悪天なのでテントで宴会。

5月5日：小蓮華尾根

コースタイム：

05:30白馬尻BC---小蓮華尾根---11:30稜線---12:00小蓮華山---14:00白馬岳山頂---大雪溪---16:20白馬尻BC

朝から晴れた。前日の雨のおかげで、雪面は凍っ

ている。早々と帰る山さんをテントに残し、小堀さんが、予め取り付きを確認したというので、ついてゆく。取り付きの斜面は急だが、凍っていて歩きやすい。2つ目のピークで稜線に上がる。先行者が見えた。

雪が少ないので、雪の稜線直下を選んで歩く。稜線の左に出たり、右に出たりしながら歩くが、1つ目の岩壁を遠くに臨んだところで、とうとう藪漕ぎ。この藪を越えるのにかなりの時間を要した。藪に疲れてひと休み。岩場には入らず、右の急なルンゼをダブルアックスで登る。しばらくは、同伴者がしっかりしたステップを切ってくれたのだが、岩場から離れて、稜線を目指すころには、自力で行くようにと言い、置いてゆかれた。後ろから小堀さんが猛烈な勢いで追い上げてきて、さっさと先頭をきって遠ざかる。後ろから、初鹿さんが写真を撮ってくれというが、急

な雪壁で方向転換が面倒なので、スルーしておく。

白馬大池に続く稜線との合流点で、ひと息。大休止の後、小蓮華山を目指す。稜線上および、反対の斜面は雪がとばされていて、夏山のような景観である。40分程度で山頂。ここで休んでアイゼンを外した。

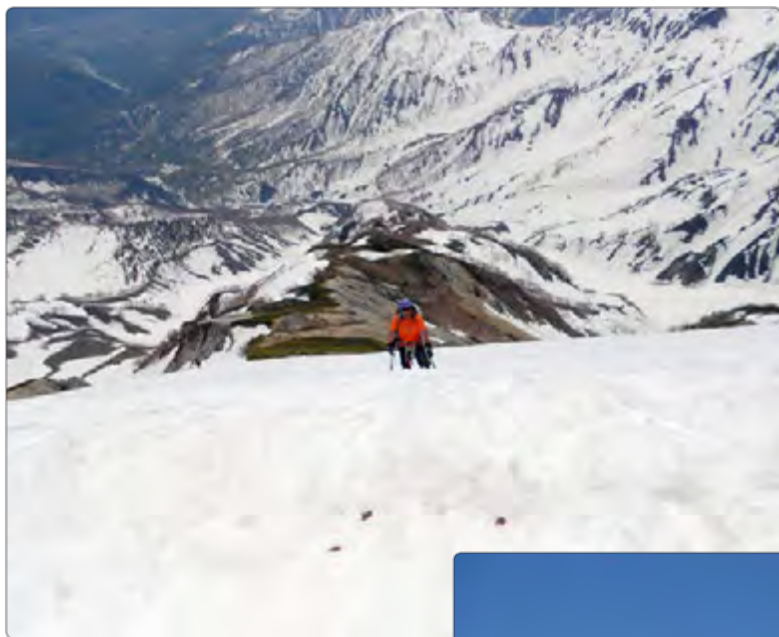
どっと人が増した稜線を、おのこのスピードで分散して歩く。久しぶりの長丁場でスピードがあがらない。さすがに一般登山道は、急坂もステ

ップがばっちり。雪倉岳への分岐点での休憩を交え、白馬岳の山頂に着いたのは、14時ごろ。疲れ切って、後続を待つのを良いことにずいぶん休む。やはり数年前、5月の連休にきた白馬岳主稜には雪があまり乗っておらず、最後の雪庇はどこだかわからないくらいだった。

少し下って、きょうのビールを人数分購入。なぜか私のザックにおさめられ、苦手な大雪溪の下り。再びアイゼンを付けて下る。時に後ろ向きに、時に小堀さんにステップを切ってもらって、テントに戻ったのは16時過ぎくらい。購入したビールで乾杯し、いつもの宴会。

5月6日：猿倉へ戻る

翌朝起きると、前日の予言通り小堀さんの姿がない。大雪溪から白馬岳へ登りにいったらしい。7時には戻ってきたので、お隣さんの朝食とテント撤収を待つ。きょうも天気が良い。揃って、テントを出発し駐車場に戻る。温泉に寄って午前中のうちに帰京。渋滞もなく、早々と家に着いた。



写真撮ってやり



Primula 99

ドロミテ 2015

・・・桜井 弘

日程：2015年7月10日～7月21日

メンバー：桜井

行動記録

7月10日(金) 晴

成田発 13:15 ～ローマ着 19:00(飛行時間 13 時間)
ローマ発 21:15 ～ヴェローナ着 22:15 (ヴェローナ泊)

7月11日(土) 晴

ヴェローナよりレンタカーにて A22 (高速道路) 利用、EGNA ORA 経由サンマルチーノ、ディカストロッツァに移動 (キャンプ場泊)

7月12日(日) 晴

CIMON DELLA PALA (3184m) SE Face Normal Route 稜線ビバーク小屋まで (往復)、北西稜の取付と下降路の確認のため登るが、確認できなかった。

7月13日(月) 晴

CIMON DELLA PALA 北西稜の取付をもう一度探すも確認できず、カナツェイに移動 (カナツェイのキャンプ場泊)

7月14日(火) 晴

Punta Grohmann (3126m)
Via normale 4 級 -340m 同ルート下降

7月15日(水) 晴、夕方から雷雨

Sasso lungo (3181m)
Via normale 3 級 +1500m
(標高 3100m のビバーク小屋までの往復)

7月16日(木) 晴 夕方から雷雨

休養 (自分の体力の低下を実感しました)。

7月17日(金) 晴 夕方から雷雨

セラ 1 峰 (2533m) 西稜～
セラ 2 峰 (2598m) 南西稜 4 級+ 300m

7月18日(土) 晴

セラ 3 峰 (2696m) Via Jahn 4 級 300m

7月19日(日) 晴

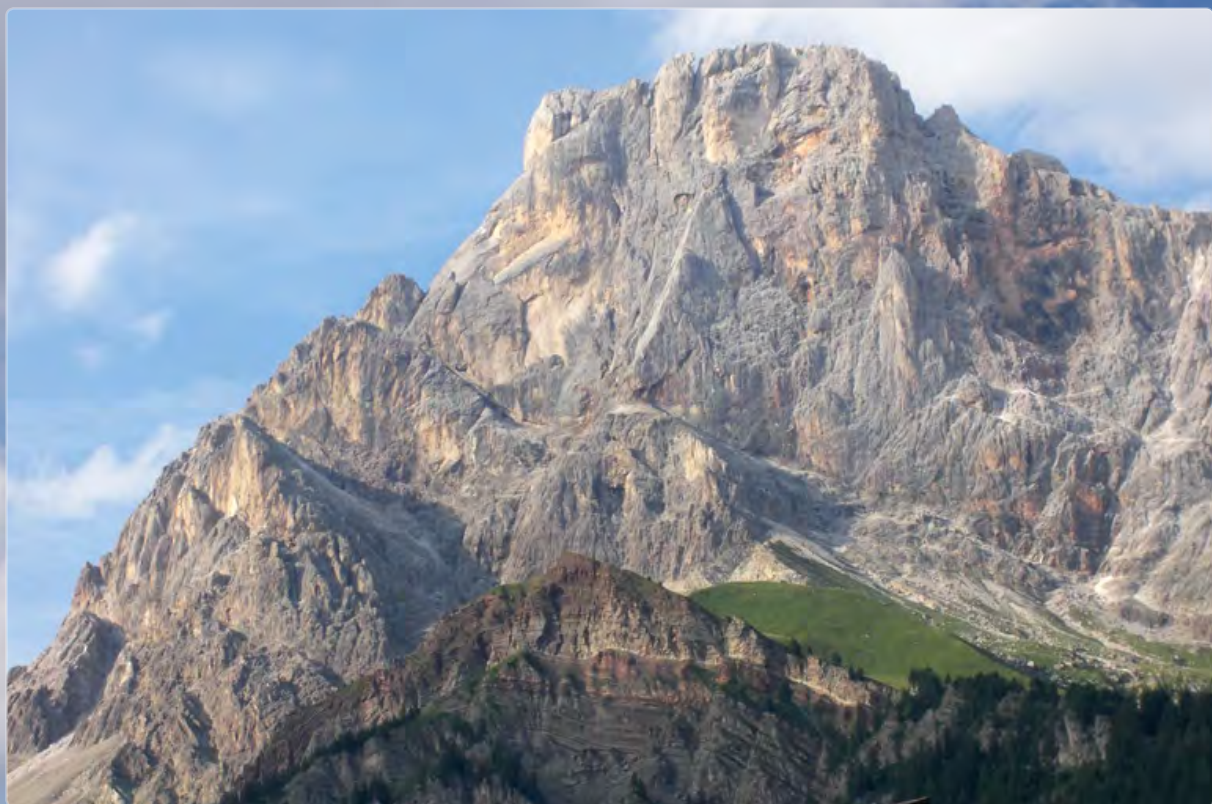
カナツェイからヴェローナへ移動 (ヴェローナ泊)

7月20日(月) 晴

ヴェローナ発 12 時 5 分～ローマ着 13 時 10 分、
ローマ発 15 時 20 分

7月21日(火)

成田着 10 時 30 分



7月10日 シモン・デラ・パラ



7月17日 セラIII峰 登り返し

セラIII峰



7月14・15日 サツソルンゴグループ



7月18日 セラIII峰のルート

Primula 99

ボリビアの夏休み（冬か） その1

・・・初鹿 裕康

日程：2015年7月17日～8月4日
メンバー：小堀、初鹿、栗原（杉並山の会）

－出発まで－

10年位前にネパールの未踏峰に行ってから、ヨーロッパの山スキーでお茶を濁した程度で最近では遠征に行けてない。小堀さんが遠征に行くような話なので、カナダがいいと言う小堀さんを説得して、思い切って南米のボリビアの山に行くことにする。2週間で6000m峰を登れるらしい。しかし、情報は全くない。ネット上でも非常に少ないのが現実であった。とりあえず飛行機を3月中に予約。これはエクスペディアで何とか取る。パソコンだけだと、なかなか最後までたどり着けないので、電話も駆使して、飛行機とホテルを予約した。

次に登る山を決める。地域が全く分からないが、現地の旅行会社のHPとかを参考に探す。ボリビアで標高が一番高いサハマにするか、La Pazの街から近い、イリマニにするか迷うが、多少技術的に高度なイリマニに決定。

登る山はとりあえずでコンドリリ Cabeza de Condoriri (5648m)、ペケーニャアルパマヨ Pequeño Alpamayo (5370m)、イリマニ Illimani (6438m) と言う感じ。現地のエージェン트에メールで接触を試みるが、返事のない所もありちょっと苦戦。ちなみに翻訳ソフトが大活躍。

「ECOANDES BOLIVIA TOURS」「Viacha tours」「Bolivian Journeys」あたりがとりあえずレスポンスが早かった。他にも数件見たが返事がなかったり、コンドリリは行かないとかあったので3件に絞る。「Viacha tours」は評判がいまいちだったので安かったけど止め、「Bolivian Journeys」は早く申し込まないと値上がりするとか言うので感じ悪いので止め、「ECOANDES BOLIVIA TOURS」にする。到着から出発まで面倒を見てくれるらしく、大体の日程を送ってきてくれる。最初の日程ではチチカカ湖のコパガバーナの観光とか入っていたけど、高度順化のために5000m峰では超簡単な、チャカルタヤ Chacaltaya (5422m) を入れてもらって調整する。

7、8月はハイシーズンのようなのでお金を早く振り込みと言われる。楽天銀行が一番安いのでわざわざ口座を開けて海外振り込み。結局ホテルはエージェン트가用意してくれることになったのでエクスペディアで押さえていたホテルをキャンセルする。帰りはボストンで半日あるので、ヒルトンのクラブルームを押さえて、ほぼ完了。かと思ったら日本を17日出発で現地19日到着だと信じていたら、日付変更線があるので18日到着だとわかって、1日ホテル滞在をあわせて増やしてもらった。まあ、結果的にはこの1日が順応に非常に有効であったのだけど。

NEOMONEY というカードを作る(無料。引き出しに1回200円かかるだけ。日本でも引き出すことができる。10万円ほど入金しておく)。ドルを3万円程両替して持っていく。10ドルと1ドルにしたが、ドルのままでは、ほとんど使うことがなかった。NEOMONEYはATMで現地通貨で下ろすことができた。結果ホテルより良いレートだった。あと、アメリカ入国のためのESTAもネットで取らないと。

そんなこんなでバタバタしていたので、現地に持っていく食糧とかもあまり考えられず、富士山に行きたくても天気が悪く行けず、当日となってしまった。小堀さんたちはミウラドルフィンズで高度順化した模様。

7/17

さて当日、台風もそれ、まあ、国際線は欠航はあまりないから大丈夫とタカをくくっていたが、電車で向かっている最中に欠航との連絡あり。同じ時間にJAL便がロスに飛んでるので、そっちに振り替えられるか?とちょっと期待していったのだが、結局振り替えられたのはUSエアーのシカゴ経由マイアミ便。さらにワンワールドでないのでマイルがたまらん。シカゴで1時間半くらいしかないので、乗り継ぎ大丈夫?と聞くと平気だとのこと。本当は全く平気ではなかった。

しかし、ただのトランジットにも関わらず、アメリカの税関検査と入国審査はえらい時間がかかる。一度荷物を降ろさないとならないし。と言うことを身にしてみた旅になった。アメリカ経由は2時間の乗り継ぎではかなり厳しい。アメリカめんどくさいよ。シカゴで荷物の再預けをするときにAAの職員にLa Pazまでと伝えるように言われる。

USエアーは結構食事は良かったが、アメリカの航空会社には目の前にモニターがないのでちょっと

つまらん。しかしWi-Fiの対応機器を持っていれば無料で使えるので、パソコンやスマホでビデオなどを見ている客が多かった。

狭いエコノミーでビールでも飲みながらまずはシカゴ。LA経由で行く予定だったのでシカゴの乗り継ぎは全く分からないのでドキドキもんである。長〜い入国検査を終え、荷物を探して検疫をスルーしてAAカウンターに荷物を預けながら「GO TO La Paz」。「OK」という確認を取って、ターミナルを電車で移動し、手荷物検査に並んだときには残り10分で離陸?混んでいる中、先に行かしてもらって走って出発ゲートに着いた。もうみんな乗っちゃったのかと思いきや、まだ搭乗前だった…(@_@;)。マイアミまでは国内線。ビールは有料(我慢でしょ)。マイアミでは2時間以上あったのでのんびり。荷物La Pazに行くよね、とかいいつつターンテーブルを見に行こうとするが、たぶん大丈夫だよとのこと。La Paz行の飛行機待ち。気が付いたら時差1時間あったので意外と早く機上の人となる。考えてみれば出国検査何にもなかったなあ…。

全員乗ってからなかなか飛ばず、1時間位たってから離陸となった。朝到着の国際線なのでビール飲んで寝るのが一番である。

7/18 Arrival in La Paz.

結局1時間遅れでエルアルト空港到着。標高4,071m。世界で一番高い空港だそう。息苦しい。入国書類が全く分からず途方に暮れていると、係の人が書いてくれた。なんていい人なんだ。ここでもらったグリーンの紙とパスポートは帰国までセットで持っていなければいけないらしい。ターンテーブルから荷物が出て来ないのでクレーム。日本語の話せる人がいてラッキー。「たぶんマイアミにあるでしょう」とのこと。「明日着くと思います」とのこと、書



お祭り中。綿菓子売り

類を書いて宿泊ホテルを教えて、外に出ると、ガイド会社のツアーの人が待っていてくれた。マルシアというおばさん。早速車で Rey Palace というホテルまで送ってもらう。ホテルの標高は 3,650m 位。今日と明日はフリータイム。街と高度に慣れよう。ケーブルテレビで映画と NHK の国際放送をやっている。シングルとツインの部屋の予定だったが、結局ツインの部屋を 2 つ。お湯はきちんと出たので良かった。トイレの便器の隣にも便器みたいなものがある。ビデらしいが、たまにお尻を洗ったりして。日本のウォッシュレットはやっぱり優れもの。ホテル内での両替もしっかりしてくれるし (1ドル = 6.7 ボリビアノ固定でした)、パソコンもある。ただし XP、しかも重い。Wi-Fi 環境がしっかりしているのでやっぱりスマホ持参だったかなあ。この街はいたるところ無

料で Wi-Fi が使える。インターネットカフェもいたるところにある。すごい。昼間はホテルのカウンターの人に聞いたダンボというお店に行く。子供連れの多い、スイーツのあるお店。ダンボはあの象のダンボです。アメリカっぽい。飲み物はビールとかビアと言っても通じない、メーカー名で言わないとダメみたい。ビールはパッセーニャとウワリと言うメーカーのがあったが、私の常酒はパッセーニャ (ボリビアで一番売れてるビール) となった。

帰りにスーパーマーケット (手荷物は持ち込めないので警備員のいるロッカーに預ける) に寄って酒とか小物を買ってホテルに戻る。街に小売りの屋台みたいのはいっぱいある。なかなか、そこで買う勇氣は出ない。たぶん、スーパーより安いと思う。本日はホテルのレストランで食事。一辺に 3 人前注文しちゃうものだから、お腹一杯。くじけた。シェアしようよ。レストランの中は寒いし、考えてみれば冬なんだよねえ。陽が出ていると、とても温かいから、半袖短パンでも大丈夫だけど。周りの皆さんは冬服だねえ。標高が高いので息苦しいかも。

7/19 Free day La Paz.

翌日、小堀、栗原は頭が痛かったそう。僕は頭を動かすと違和感がある程度だった。アメリカンブレックファースト付きの宿なので、レストランで朝飯。ロストバッケージの荷物が朝 9:00 にホテルに到着。良かった。La Paz では街でお祭りをやっていた。昨日と同じチェーン店でハンバーガー。おいしかった。スーパーでカップラーメン、トマト、水、ジュースなどを購入。今日 1 日は良い順化になった。ちなみにカップラーメンは日本の味とはほど遠い。辛目を買っておけば、まあ、ましかも。日清とまるちゃんがあった。



カップラーメン



トイレ 紙は流さないで



ムーンバレー



killkill展望台 上に行けばいくほど質素。山はIllimani

7/20 La Paz. Acclimatization day.

今日は半日観光。9時にマルシアが来る。ムーンバレーまで結構遠い道のりを移動。まさに月面のような観光地だった。その後 killkill 展望台に行って La Paz の街を一望。予定していた美術館は月曜日お休み。大聖堂、総督邸は大規模なデモで行けず、Sagarnaga Street でお土産を物色。リヤマの胎児のミイラが、いっぱい軒先にぶら下がっていたりした。なんかの祈祷に使うのかな。精力剤もなぜか一杯売ってました。確かに子供は多いし、活気溢れる都市です。夕方に現地エージェントの社長と社長夫人、ガイドが来て、装備の確認(装備は自前で全部持参

した)。全く問題ないらしく、あさって 9:00 と言うことで帰っていった。登る山は 3 つと言うことを確認。明日はマルシアがチャカルタヤへ連れてってくれるらしい。社長は観光だと言っていた。

夜はレストラン。ピザを頼むがパンピザの様。冷たかった。

7/21

La Paz－駐車場(5180m) (10:07)－Chacaltaya (5422m) (11:02)－駐車場(11:35)－La Paz

朝 8 時にマルシアが来てドライブ。かなり遠くまで行く。6000m で一番簡単と言われるワイナポトシが良く見えた。5200m の駐車場に 10 時到着。1 時間位休憩だと言うので山に登る。かなりゆっくり歩いていたので、最初のピークに登った時には 1 時間近

くたっていたが、ここまで来たら頂上まで行きたくなるのが人情。栗原さんと二人で山頂まで行ってしまった。小堀さんごめんなさい。結局下りに 30 分くらいかかって駐車場。特に高度的には問題ないが、下ってしばらくしたら指先の痺れあり。ホテルに戻っていいよ明日から登山開始。昼は適当にお菓子なんぞを食べて、夜はまたカップラーメン。

次号に続く。

費用明細

飛行機代往復	687,690	円	
インツアーリスト代	667,874	円	ホテル代込み
集金	82,126	円	
集金	18,900	円	50ドル×3人集金×126円
集金	3,000	円	50ボリ×3人集金×20円
	1,459,590	円	1人486,530円
			全部込
			1人約5,000円返却かな。
			後は各自のお土産代です。
			1ボリ=20円計算
			1ドル=126円計算



Chacaltaya山頂



Chacaltaya山頂 後ろはIllimani

Primula 99

四十八滝沢と三ツ峠クライミング

・・・佐藤 正俊

日程：2015年7月19日（日）～20日（月）

山域：大菩薩・御坂

メンバー：平、佐藤

行程：

19日：東京～宝の山ふれあいの里駐車場～四十八滝沢
～駐車場～裏三ツ峠（泊）

20日：裏三ツ峠駐車場～三ツ峠クライミング～裏三ツ
峠～帰京

1. 四十八滝沢の遡行（19日）

海の日の3連休、後半の2日間を利用して平ちゃん
の提案で、四十八滝沢と三ツ峠クライミングのミッ
クス山行に行く。前日までの台風一過の影響が夜明
けの中央高速からは、真っ赤な朝焼けと虹の共演と
いう、非常に不思議な光景を目撃する。

ヘリポート兼用の広大な「宝の山ふれあいの里、
駐車場」に車を止め、登山道を進む。四十八滝沢
の取付きはトポどおりで分かり易いが、北口登山道
入口は大量の水流で沢状態となっている。どうも平
ちゃんとの沢登りは、何時も水量が多いらしい。

ほぼコースタイムどおりで入渓地点の初滝上部に
到着する。出だしの壁が非常に悪くロープを出す。
その上の三段の滝は水量が異常に多い。仕方なく左
岸を高巻くと再び登山道に出てしまい、すこし上から
左に降りると無事、三段の滝上部に戻ることが出来
た。

ここから先はほぼ沢筋を遡るが沢は激流で手がカ
ジカムほど水は冷たい。相変らず水量は多いが中流
から先、ほぼ高巻きは無くなる。2時間程で水源

地に到着する。何と水源からも大量の水が湧き出て
おり、まるで白糸の滝状態!!

詰めは簡単に左側の支尾根に上がり、11時には
縦走路に到着する。詰めも容易で水量が異常に多い
以外は快適な沢だが、透明な水質の割には四十八
滝沢の異臭は強烈。ウーン参りました\ (×～×) /。

帰路は「芭蕉、月まちの湯（アルカリ泉、ぬる湯）」
で疲れを癒し、スーパー「公正屋」でビール、寿司
などを調達し、裏三ツ峠駐車場で大宴会。思いが
けなく涼しい快適なテントサイトでした。

2. 三ツ峠クライミング（20日）

翌日は4時半に起床し、朝7時に三ツ峠山頂に
到着。頂上からは360度の展望で黒く大きな富士
山が印象的。いつ来ても曇っていたので今回は初め
ての快晴です!!

台風一過のせいか三ツ峠の岩場も空いており、一
般ルート、クーロワールでウォーミングアップ。そし
ていよいよ「岳2ルート、11a」にアタックするが3
ピッチ目の核心ムーブで、まともや敢無くワンテンシ
ョン（涙）!! 仕方なく核心ムーブをおさらいし次回
の再起を期しました（帰宅後には核心ムーブの絵図
も作成済み）。

お昼過ぎには、3連休の渋滞を避けるためにクラ
イミング終了。帰路はかなり渋滞したものの秋山温
泉で入浴し、21時に池袋駅到着。愉快的2日間は
終了いたしました。

Primula 99

北岳バットレス D ガリー奥壁

・・・佐藤 正俊

日程：2015 年 8 月 1 日（土）～ 2 日（日）

山域：南アルプス

メンバー：佐藤ほか 4 名

行程：

1日：（東京発、神志那さんの車）、芦安駐車場～広河原～白根御池（テント泊）

2日：白根御池～D沢第5尾根支稜～Dガリー奥壁～山頂～白根御池～芦安～帰京

1. 白根御池まで（1日）

今回は救助隊メンバー他で1泊2日の強硬日程で北岳バットレスへ。バットレスは「枯れ木テラス」大崩落直前の22年9月に第4尾根を登ったが、崩落後の状況を是非とも確認したいと思っていた。

出発の土曜日は朝7時半に池袋に集合。中央高速は稲城の事故のため2時間遅れで芦安駐車場に到着する。折よくジャンボタクシーに乗り、広河原には13時過ぎに着く。

急坂と重荷に喘ぎながら16時半ころ白根御池に到着する。神志那はかなり足が攣り気味のような。テント場は結構混んでいたが、無事2張りのテントサイトを確保する。翌日の早出に備え宴会も控えめにし、19時半ころ就寝する。

2. D ガリー奥壁の登攀（2日）

翌朝は3時に起床し、3時40分に出発する。大樺沢二俣を過ぎるころから空が明るみ始め、5時にDガリー出合に到着する。思った以上に順調。

先行パーティも殆ど見当たらない。僅かに下部フランケとピラミッドフェイスに1組ずつ取付いているだけだ。落石が多いと思ったDガリー遡行も快適そのもので、今日は落石の心配も不要のようだ。

途中の滝は左から容易に巻き、6時過ぎにはロープを結んで第5尾根支稜を超え、8時前にDガリー奥壁の取付きに到着する。ここまですこぶる順調！！

奥壁は2人組のパーティが先に取付いている。聞けば昨日ピラミッドフェイスを登って4尾根基部でビバーク。今日はテント一式を担いで下部フランケを登ってDガリー奥壁へ取付いたとの事。何と元気な2人組だ。その上、重荷の割には登攀が早い。クライミングがちっとも楽しくない、悪い悪い、と言いながらガシガシ登って行く！！

2人組のフォローが登るのを待って、我々も登り始める。先行は佐藤、田村、杉山の3人で、佐藤がロープを2本引く。後続は神志那、相場ペア。

神志那、相場ペアはルートが心配との事でクイックドローは残して欲しいと云う。仕方ないのでクイックドローを5～6本佐藤が預かり、クライミングを開始する。

1p目は出だしの1手が悪いがその先は快適、岩が硬く結構登りやすい。後続パーティのためハングにアブミを1個残置する。ハングを越えた所もノーピンのクラックなので後続のためにカムを1ヶ所セットする。2p目は終了点手前のスラブが非常に怖い。3p目のオフウィズスも慣れていないとプロテクションが難しそう。最終の4p目は最初のハング越えが楽しいが、ここにもアブミを1個残置する。後続パーティは1、4ピッチのみリードしたが「残置のアブミは当然使いましたよ。クラックなんかもっとカムをセットして欲しかったですよ。」と力説していた。

D ガリー奥壁は岩が硬くとても快適でハング、クラック、スラブ、オフウィズスと内容が多彩な反面、第4尾根に比べると初心者には敷居が高く、難しく感じるかもしれない。

「枯れ木テラス」の大崩落地点(4ピッチ目の右)は、本当にスパッと切れ落ちていて何も無い!!但し4尾根からのトラバースはそれ程難しくないように感じられた。

登攀は昼過ぎに終了し、軽食を摂り、13時過ぎに肩の小屋に到着する。しかしながら、広河原の最終バスが16時40分なので、あまり時間が無い。1時間弱で白根御池に駆け下り、テント撤収、そして16時20分に広河原に到着する。ヤレヤレ、何とか間に合った。

無事、最終バスに乗り込み芦安のバスターミナルで安堵の入浴。帰路は高速インター手前の「台湾料理福源」で夕食。安くて大盛の超お薦め中華店である。

中央高速が渋滞のため、いつもの秋山街道を經由し、23時過ぎに帰宅する。1泊2日のDガリー奥壁はとても楽しい山行でした。そして皆さん本当に、お疲れさまでした。

Primula 99

東北の山旅 2015

・・・北原 浩平

日程：2015年8月2日～8日

山域：東北

メンバー：北原、他1

8月2日から8日まで7泊8日で、素敵な山、温泉、食のある東北の山旅に妻と二人で出かけた。

考えてみると海外はともかく国内で8日間の旅に出ることはめったにない。

時間が取れるようになったら、もっとやってみても良い気がする。

日本の多様性をまだ余り知らない。

さて、東北道を北にひたすら走り、初日の宿である花巻鉛温泉の藤三旅館の湯治部へ。

白猿の湯、名湯でした。

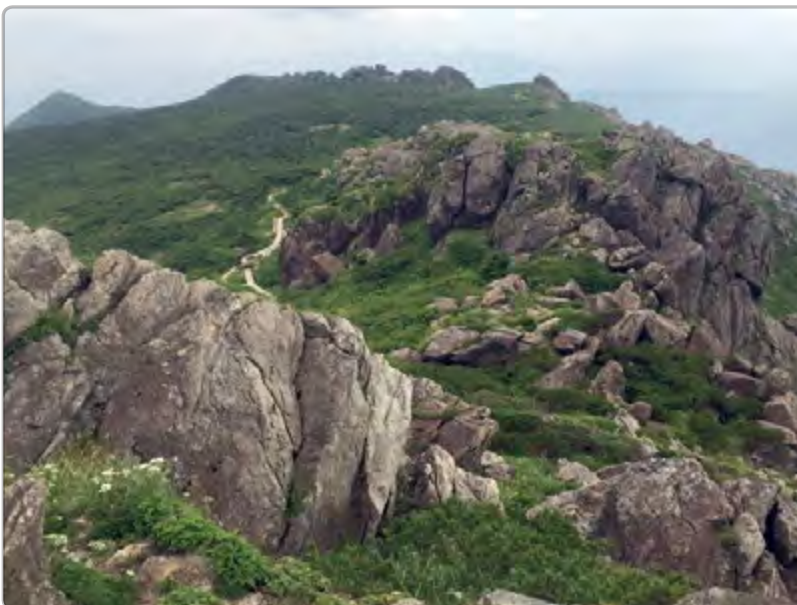
その1 東北：早池峰山

日程：8月3日(月) 宿：酸ヶ湯

9:30河原の坊登山口---12:15早池峰山山頂12:25---

14:10小田越---14:40河原の坊

何度も遠野市まで仕事で行っていながら、なかなか登れなかった山。ハヤチネウスユキソウと出会え、意外なほどアルペン的な山だった。



アルペン的な山容



ハヤチネウスユキソウ

その2 東北：八甲田山

日程：8月4日（火） 宿：酸ヶ湯

9:30酸ヶ湯出発---11:37八甲田大岳山頂11:45出発---14:00酸ヶ湯

雪のないシーズンは行ってみると、湿原の山であった。

晴れた日には

湿原と小岳



その3 東北：恐山

日程：8月5日（水） 宿：下風呂温泉

極楽



地獄



14:00恐山---恐山温泉15:30

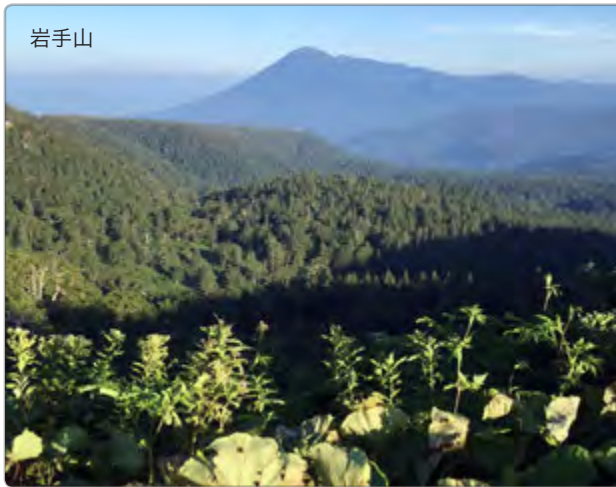
行ってみると、ここだけで小宇宙的な空間を構成していて、特別な場所であることがわかる。



恐山温泉

その4 東北：八幡平

日程：8月6日(木) 宿：玉川温泉



岩手山



玉川温泉

17:10八幡平見返り峠17:40

ほぼほぼ車で登った山。でも晴れると美しい山並みが堪能できる。

焼森にて



男女岳



その5 東北：秋田駒ヶ岳

日程：8月7日(金) 宿：秋保温泉

11:05八合目登山口出発---12:15男女岳---横岳---焼森---
13:40八合目登山口

レベル1に活火山であるが、花の山である。ここから八幡平までツアースキーに適した山々が連なっている。

その6 東北：蔵王刈田岳

日程：8月8日(土)

12:10大黒天出発---13:00蔵王刈田岳山頂---

13:55大黒天

この6月にルート規制解除された現役の火山。過酷な環境に可憐な花が咲く。



火口壁



コマクサ

Primula 99

劔岳、チンネ左稜線

・・・佐藤 正俊

日程：2015年8月8日（土）～11日（火）

山域：北アルプス

メンバー：佐藤ほか3名

行程：

7日：21時（東京発、佐藤車）～立山駅駐車場、仮眠

8日：立山駅～室堂～真砂沢小屋（テント泊）

9日：真砂沢～池ノ谷乗越～チンネ左稜線～池ノ谷乗越
～真砂沢小屋（テント泊）

10日：停滞

11日：真砂沢小屋～室堂～立山駅～帰京

日は6時半に起床、7時半のケーブルカーに乗車し、9時半に室堂に到着。雷鳥沢、劔御前小屋、劔沢を經由し14時半に真砂沢小屋に到着する。

睡眠時間が短いため、1日がとても長い。翌日の早出に備え、宴会も早めに切り上げ、19時過ぎには就寝する。

2. チンネ左稜線の登攀（9日）

起床は2時。朝食を摂り身支度を整え、3時半に出発する。アイゼン、ピッケルを効かせ急斜面の長次郎雪渓を登るが、昨日から疲れ気味の山本のスピードが上がらない。

熊ノ岩を通過し、ようやく7時30分に池ノ谷乗越に到着する。真砂沢小屋から4時間かかっている。

コルにアイゼン、ピッケルをデポし、何回も登攀経験が有るという岩瀬、田村が三ノ窓を經由せず、ジャンダルムとチンネ間のガリーを下り、何とかチンネ左稜線の取付きに辿り着く。コルから90分を要した。

本当は三ノ窓のコルを經由すべきだが、その場合はアイゼン、ピッケルをデポしたため、最後の三ノ窓雪渓トラバースで相当難儀していたはずだ。全く結果オーライである。

1. 真砂沢小屋まで（8日）

先週の北岳バットレスに引き続き、今回は念願だった劔岳チンネ左稜線への遠征である。チンネ左稜線は印象的なスカイラインを登攀する永年の憧れのルートだ。

当初チンネ左稜線の他にVI峰Dフェイスも登る予定だったが、疲労のためDフェイス登攀は断念となった。

出発は7日、金曜日の晩、21時に池袋駅に集合する。日本海側の立山駅までは遠いが、その分、高額なアルペンルートバス代を節約できる。我が家のレボークは快調に高速道を走行し、午前2時半に富山県立山駅駐車場に到着、テントで仮眠。翌

チンネ左稜線の下部



取付きは先行パーティで渋滞しており、1時間弱待つてやっと1ピッチ目に取り付く。先行は田村、岩瀬ペアで、佐藤、山本が後に続く。どうやら登攀順は最後尾のようだ。

それでも憧れのチンネ左稜線に心がざわめく。そして期待に違わず快適な登攀が始まる。本当に岩は硬くしっかりしているが、また、所々で渋滞も続いている。登攀時間と待ち時間がほぼ同じ位か。

T5 テラスに着いたのが14時30分。核心のピッチは下から眺めると殆ど垂直に見える。本当に天に突き上げるような荘厳な岩稜だ。左にはクレオパトラニードルも屹立している。核心を抜ける先行数パーティのムーブを穴のあくほど眺める。そして田村さんが核心に取り付き試行錯誤の末ノーテンションで抜ける。そして岩瀬さんがフォローする。

いよいよ私の順番となった。出だしのカンテも、その先のハングも、そして核心の1手も呆気なく終わってしまう。下からは垂直に見えたその先の壁も、登ってみると傾斜は緩く4級以下に感じられる。

その後も渋滞は続き終了点に着いたのが17時30分。それでも登攀時間は全く長くは感じられず、念願のチンネ左稜線は本当に充実したクライミングを体験させてくれた。

しかしながら日暮れは近く、感慨に浸る余裕は無い。2回の懸垂下降で池ノ谷ガリーに降り、コルでピッケル、アイゼンを回収する。何とか明るいうちに池ノ谷乗越直下の急斜面は通過するが、19時過ぎに熊ノ岩を下った辺りで真っ暗になる。相変わらず山本さんのペースは上がらない。

真砂沢小屋に着いたのが21時40分。無事、テントに辿り着いた喜びを4人で分かち合い、零時近くまで酒宴は続いた。翌10日は7時過ぎまで朝寝を愉しみ、全員の総意で予定していたVI峰Dフェイス富山大ルートはキャンセルする。8時過ぎから真砂沢小屋のオーナーも交え、煙草やソープレタで盛り、日がな1日を酒宴で過ごす。

最終の11日に山を下り、アルペンルートで立山駅に着き、そこからマイカーで帰京する。自宅到着は23時10分。最終日も結構長い一日となる。

チンネ左稜線はもっとアプローチが近ければ何回でも行きたい場所かな。でも、逆にこうした不便さ、厳しさが、この岩場により一層の価値を与えている事も確かな真実であると痛感する山旅だった。



チンネとクレオパトラニードル



Primula 99

子連れハイク

・・・市瀬 江利子

湯坂路 鷹巣山

2015年5月31日
湯坂路 鷹巣山 (834m)
子連れハイク No.25

メンバー：市瀬、初鹿、他2

コースタイム：箱根小涌谷ユネッサンス駐車場(11:15)-
---千条の滝(11:45)---鷹巣山(13:20-13:50)---国道1号
(14:15)

箱根小涌谷のユネッサンス駐車場に車を置き、かつて箱根旧街道であった湯坂道にある鷹巣山までハイキングに行ってきました。東海道を芦ノ湖のほうへ向かい、三河屋蓬萊園の通りを左折し下って行きます。閑静な別荘地のようなところをずっと下って行くと、千条の滝方面へ向かう側道があり、これを右折します。この後、林道に入る手前にも若干の駐車スペースがあるので、そこまで車で入っても良かったかもしれません。

暫く進むと千条の滝があり、この奥から本格的

な登山道になります。登山道は良く整備されていて、危ないところありません。登山道には松ぼっくりがたくさん落ちていて、これを投げたりして遊びながら登って行きます。また、途中、オレンジ色の木苺を見つけ、甘くて美味しいので、木苺探しにも夢中になりました。頂上直下が若干急な階段ですが、そこを過ぎると草原のような頂上にでます。源頼朝が整備した街道とのことで、そう思うと、稜線はなんとなく歴史を感じる趣があるようにも?感じます。

頂上は残念ながら、視界はほぼありませんが、頂上には鷹巣城跡の標識があり、ベンチと机が備えられていて、ここでお弁当を食べました。

その後、元来た道は戻らず、国道一号へ向けて下って行きます。いつもながら、下りはあっという間です。運よく、すぐにバスが来たので、ユネッサンス前までバスに揺られて帰りました。



千条の滝



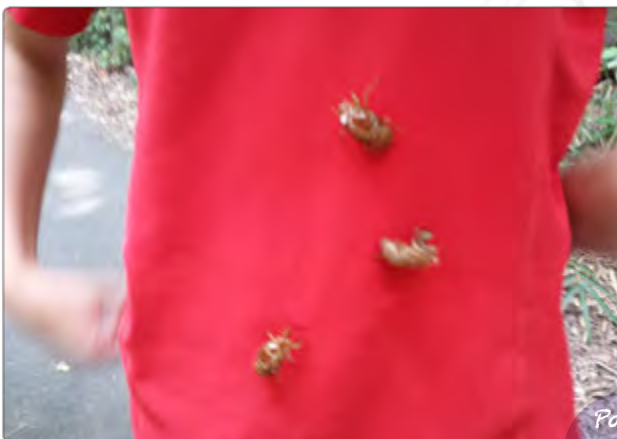
オレンジ色の木苺



ここで仲良くお弁当



下りの登山道でタンポポ見つけ



蝉の抜け殻〜。



みんなで昆虫探し！

甲州 湯村山

2015 年 8 月 12 日

甲州 湯村山

子連れハイク No.26

メンバー：市瀬、初鹿、他3

コースタイム：緑ヶ丘スポーツ公園(12:10) ---湯村山
(13:10-13:40)---緑ヶ丘スポーツ公園(14:10)

甲府駅からすぐ近くにある湯村温泉。ここから登ることができる湯村山という山？に登ってきました。夏休みでこちらに遊びに来ていたので、甲府駅で知人を拾ってからのハイキングコースです。

暑かったのですが、昔ながらの原生林っぽい林道を辿って行ける良いハイキングコースでした。子供も虫かごに虫網を手に、色んな虫を見つけては捕獲していきます（というか実際は捕獲させられたのです）。

ただし、スズメバチ注意の看板が至る所にあっただけで、気が気ではなかったです。実際、頂上の四阿にも、これから巣を作ろうとしているスズメバチの大群が梁の上に群がっていたし、少し頂上から足を伸ばしたら、偵察のスズメバチが私の周りをぐるぐる回って、威嚇音のカチカチと言う音を立てたりして怖かったです。

登りは虫を捕まえながらの行程で、なかなか前に進まず、たっぷり一時間かけて頂上までたどり着きましたが、帰りはあっという間でした。駐車場前にあった駄菓子屋さんで懐かしいお菓子を買って、奥湯村温泉「紅椿の湯」へと向かったのです。この温泉、大きくはありませんが、空いていて、ゆっくりできて、とても気持ち良かったです。

甲府ならではの楽しみ！



皮ごとがぶり

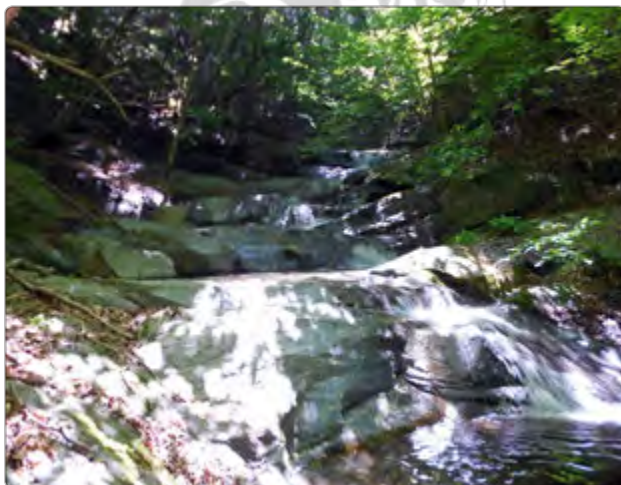


二人でがぶり！

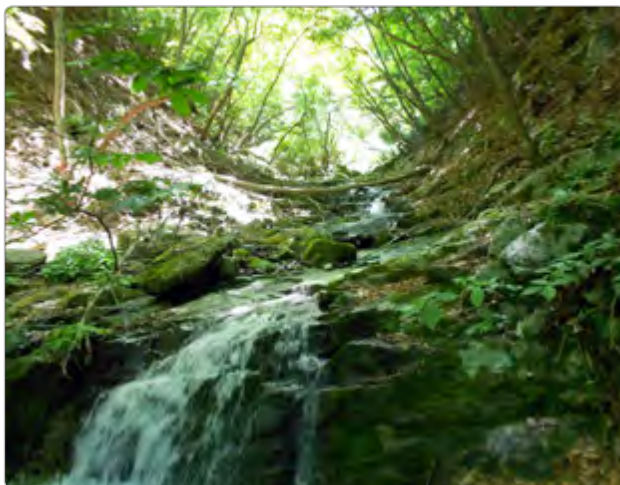
Primula 99

季節始めの沢登り

・・・たいらまり



明るい滝



段々ナメ滝

大菩薩・日川曲り沢

日程:2015年5月30日

山域:大菩薩・日川曲り沢

メンバー:平

コースタイム: 08:30 景德院---09:10 入渓点---曲沢---
12:30 稜線---13:00 大谷ヶ丸---15:00 やまと天目山温泉

バスで甲斐大和駅に着いたら、ハイカーでゴった返していた。8:00 前には余裕で駅についたのだが、大菩薩へ向かう登山客が次々と臨時便で運ばれてゆくなか、近距離の私は定時便の最後に乗せられる。

景德院で下り、曲り沢林道の入り口を探す。ガイド本にあるような下の平バス停は見あたらなかったが、写真と合致することを確認して、林道を歩き始める。曲り沢峠へ向かう登山道は、道が悪いとかで違うところにつけられていた。

林道を歩くこと 30 分程度で入渓点。堰堤の手前の橋から降りて、沢に入る。今回、指標にした『ウォーターウォーキング』は写真が豊富。いちいち照合しながら歩くが、ハイライトの段々の 15m ナメ滝は、倒木で様相がかなり変わっていた。

順調に進んで、11 時ごろには水が枯れたので、右岸をツメにかかる。泥でずるずると滑る傾斜を、コンパスで方向を合わせて登るが、ふと顔をあげると上に黒い塊が…。熊だった。呆気にとられて動けず、正気に返ると、笛を吹くがまったく動いてくれない。あんまり目を合わせないようにしていると、左側にトラバースしてゆく姿がみえた。まっすぐ登って、先の熊の居場所に到達したら、ほかほかの熊糞。まだ視界内なので、仕方なく私は右側に。

一刻も早く稜線にたどり着くべく、四足で駆け上がる。余計な時間をくって稜線に出たのは12時半くらい。沢装備を解いて、まだ急な登りを大谷ヶ丸山頂に向かう。登山者に会ったときはほっとした。

大谷ヶ丸山頂に着いたのは、まだ13時前。米背負峠を経由して、一路天目山温泉へ。アスファルトが出てきたところで、面倒になって走り下りる。15時には温泉について、入浴。生ビールがおいしかった。

奥武蔵・谷津川地獄谷

日程:2015年6月7日

山域:奥武蔵・谷津川地獄谷

メンバー:小堀、平

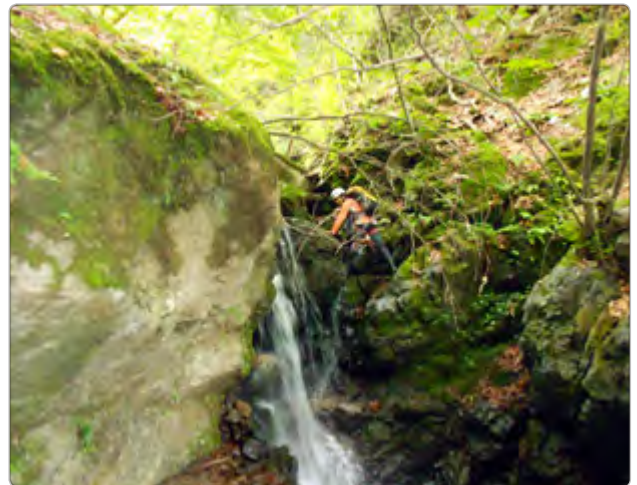
コースタイム:08:40 白久---09:10 入渓点---谷津川本流---11:00 地獄谷との分岐---12:00 谷津川林道---13:00 白久温泉

沢には一人で行くものではない、と思い今回は小堀さんを引っ張りこんで、奥武蔵へ。電車でも行ける地獄谷にした。

朝、予想してはいたが、待ち合わせの白久駅には、早々と着いた小堀さんが待っていた。途中までは車道、数件の旅館を通り、熊倉山への登山道が沢と交わるところで入渓。短いので、地獄谷の出合まではゆかず、谷津川本流下部から入ることにする。

堰堤を越えて、最初の10m 滝。ノーザイルで登るには悪そうに見え、支点も見当たらないのでまく。段差程度のところを次々越えてゆき、時にはちょっと頑張つて、濡れて登ってみた。天気も良く、寒さをまったく感じない。地形図での方向転換に気を付けながら進むと、立派な林道が頭上に現れた。こんな説明なかったけど・・・。

ほかに行きようもないので、大きく右に曲がる。そして、やっと地獄谷との分岐。文字の読めない木の



巻いても良いのに小堀さん

道標がちょこんと立てられていて、間違いないことが確認できた。ここからが本番、と思ったが倒木が多すぎて、水流の少なくなったこちらは沢らしくない。木の間をかいぐづっていくうちに、林道が横切る終了点に出てしまった。

沢靴を脱いで下山。崩壊地と泥の傾斜に気を付けながら、1時間もしないで入渓点に戻ると、釣り人がいた。装備を解いて、車道歩き。温泉のある谷津川館に着いたのは13時ごろ。誰もいない温泉にゆっくりつかって電車に乗り、秩父駅で反省会。

奥多摩・シダクラ沢

日程:2015年7月12日

山域:奥多摩・シダクラ沢

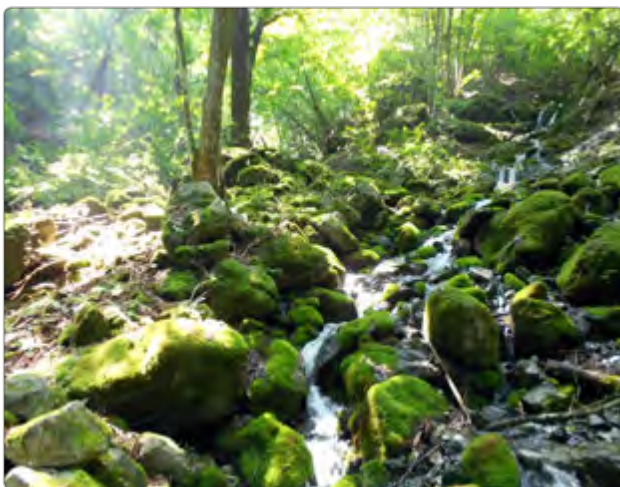
メンバー:平

コースタイム:07:40 惣岳バス停---08:00 入渓点---11:00 大ブナ尾根---惣岳山---御前山---12:00 御前山避難小屋---14:00 境橋バス停

今回も一人沢。前日に懲りて熊鈴を持参した。奥多摩駅でバスに乗り、惣岳で下りたのは私一人。バス停から入渓点までは、すぐ近く。散策道をたどって、シダクラ沢の入渓点へ。多摩川本流との分岐点でわ



二条の滝



苔いっぱい

かりやすい。

釣り人が一人。上部が急だと注意される。どの案内を読んでもツメで苦労しそうなので、今回はバイル持参。水量は結構多い。かなり水を浴びながら、滝を登ってゆく。初心者がいる場合はロープ、と書いてある2段6m滝には、支点があった。確かにぬめっていて少し悪い。

前の2回の沢に比べれば、沢登りらしく浸かって登る。巻くところはほとんどなく直登。

水が枯れて、いよいよツメ。迷っている記録がいくつかあったので、入念に確認する。左に入って岩壁沿いを登ると、右手は尾根の斜面、そこから尾根に上がる。やがて開けた斜面となって、最後に岩

峰、右側を回り込んでひと登り……。まったく記述の通り。そして足元が悪いことも。アプローチシューズで、つま先が効かないので、ここでバイルを使ってみる。なんとなく踏み跡を辿ってゆくとゴミが見受けられ、登山道に出た。登山者が数人行き交う。

まだ11時過ぎ。ここから下山するには早すぎるので、御前山をまわって、境橋に下ることにした。ただしバスが少ない。暑すぎるこの時期、山頂の人は少なかった。そこから少し下って立派な避難小屋、さらにバス停めざして下山。探索路の案内はいたるところにあるのだが、逆に分かりづらく、人にきいて下山路を確かめた。

途中から車道歩き。ちょうどよく14時過ぎのバスに間に合って帰途についた。

3 昨年ちょっと面白そうだったので目をつけていたのだが、申し込み間に合わず、今年申し込んでみた。途中川の中を走ったり、真つ暗なトンネルを走ったりするみたいだったが、良く読んだらそれがあるのは42km だけで21km はただのトレランと舗装路だけらしい。水野を誘って参加する。トレイル 52%、舗装路 48%。

さて、当日は前日の雨も止んで、曇りがちの涼しい感じである。新松田の駅で水野と待ち合わせて送迎バスに乗るのだが、水野のトイレ中に1本行ってしまった。次の送迎バスがなかなか来ない。会場についたのは予定では既に受付が終わっている時間。そんな送迎バスないでしょう。

残り30分でトイレと用意。トイレ待ちをしながら準備を始めて、両足にチップを着け、ナンバーカードを胸の前に着け、水をハイドレーションパックに入れ、雨具、防寒具は必携なので雨具を防寒具として入れ、ゼリー飲料2つとブドウ糖をザックに詰め込み、太腿と膝にキネシオテープを張り、靴を履いてトイレに入ったら、もうスタート時間直前。あわただしい。なるべく前の方に並びたかったがあんまり前には並べず、スタートとなる。しかし、手ぶらの選手もちらほら…。あきか？

しばらくは舗装路。ここである程度バラけないと山道で詰まりそう。なるべく頑張って走る。トンネル手前で山道に入るがやっぱり詰まっている。早歩きで進んでいくが私的にはもう少し速い方がいい感じ。それでも何人か抜きつ抜かれつ。登りが終わって平になって気持ちよく走っていたら足に何か引っ掛か

り、前方回転して立ち上がる、「大丈夫ですか」と声がかかるが、大丈夫。再び登りが続きやっと下りだと思ったら下りはかなり急な下り。いつものように、落ちてくる様に走る人はさすがにいない。舗装されていない林道に出てしばらく走って下ると最初のエイド。水だけもらって進む。アスファルトの道になって走っていくと応援の人がいて「今80番です」と言われる。申込者が270人なので、参加者は240人位かな。このままだと三分の一以内に入れないので、順位を数えながら抜いていくことにする。

途中の大エイドでバナナをもらって水で飲み下す。再び山道に入って登り。なかなか急な登りが続くので走れない。もう結構距離来たでしょと思っていたが、10kmの看板に愕然。もう1時間半以上走っているのに。ここで同じく気が抜けた選手を抜いて、順位を上げていく。登りの間にザックからゼリー飲料を出して飲む。またまた山の中の下りはかなり急。それを下るとアスファルトの道に出る。ここのエイドで塩をなめて再び走る。舗装路は48%なので、残りは全部舗装路か?? (コース図も何も見てない)。

箱根駅伝の様なかなか急な下りを駆け下りていく感じになる。大腿四頭筋にきくねえ。登りもあるが、頑張って走ったりもしながら、何人か抜ける。それでも六十数番目か…。なかなか追いつきません。結構いい気分の下っていくといきなり林道脇の山道へ入れとの指示。山道と言うか、もうこのレースのために作った道の感じ。倒木をくぐったりまたいだりと忙しい。また一瞬舗装路に出るが、再び山道に誘導される。ここも橋が落ちていて、道も崩れていてロープが張ってあったり、1人しか渡れないと書いて

ある鉄の橋があつたりと、忙しい。良く怪我人が出ないなあという感じのコースだ。

再び舗装路に出ると 20km の看板。次のエイドステーションまで 3km とも書いてあるが、俺の出ているレースは 21km だったはず????。しかし残り 1km なのに、放送も何も聞こえない。大丈夫か心配になるが走るしかない。間違いなく 1km 以上走ったよなあって頃に、やっと人。そこのカーブを曲がってゴールですとのこと。もう前に抜けそうな人はいないが、最後気持ちよく飛ばしてゴール。

結果は男子 42 位でした。総合だと 49 位。久しぶりに気持ち良く走れたレースだったので嬉しい。年代別のカテゴリがもう少し、小さかったら表彰されたかもねえ。まあ、こんなもんさ。

山の下りが少なかったので下りでほとんど抜かれなかったのが楽しかった。80 位と言われてからは 3 人位にしか抜かれなかった。

最初のうちに川を渡るところがあつて、飛び石伝いに渡るのか迷ったけど、そのまま水の中を走り抜けた。

古道をむりやり整備したみたいで、普通の登山道はあんまり走ってないようなコースだった。

6/6 西丹沢アドベンチャーラン

21km 253名出走 男子 185名
女子37名 ペア 31組

49位 初鹿 裕康 3時間24分10秒
一般男子42位 年代別40～50歳代 19/91位

168位 水野 奈保美 4時間30分18秒
一般女子17位 年代別35歳以上 13/24位

5Km	54 分 39 秒
10Km	1 時間 41 分 21 秒
15Km	2 時間 34 分 25 秒
20Km	3 時間 24 分 17 秒

↑なんで?押し忘れた?

毎度、みなさまに勇気と優越感をお送りいたします。

最初はネタでやってましたが、どうやら本当にいつまでたっても上手にならないようです(涙
4月からはじめたマミちゃんですがぜんぜん終わりませんよ

マガジン@兄岩

吉野街道@白妙

麦畑と畑@河又



5月後半

5/17 兄@こーちゃん、S介様

- ・もみじ△(しくったw)
- ・マミ×3 リード、tr、tr

5/24 日 河又 @ こーちゃん、S介様

- ・イキのいいやつ
- ・麦畑10a
- ・畑11b×××

左隣の麦畑から登って畑にぬんかけて開始してみたら、いきなり離陸出来ないワロタ。B2個めに棒でロープかけてからスタートして、かろうじて抜けた。うう悪い、けど通して触った後に、冷静に考えてみると、無謀な動きはなく、意外といけるのかも、的な。3回めはノーテン目指してtr。ですがtrでもブッチブチ。被ってない系なのに、やっぱ動きは石灰岩。

5/30 土 さわやか小川@久しぶりOやま

- ・大日本2Pフォロー・ラブリズイージー11c ×△tr

指痛いから指入れものはあんまりやりたくないんだよねホントは。しかし、これは短いけれど美しいフィンガーもので、しかもエリアン黄のバチ指サイズ。足を丁寧に置いて股関節で尻が出ないようにすれば、逆手パワージャムをしなくても正体バランスジャムで行けると思いますが、問題はリードをはじめてからだ！

6月

6/13 土 まみ@こーちゃん

- ・まみ×4。

- 1) アンダーとろうとした足がすべった。
- 2) アンダーとってカチとったけど怖くておちた。
- 3) カチとってクロスとってガバとったのに、左手よせたらバカ落ちて脇腹が痛い(本日の最高到達点)
- 4) カチとってクロスとって、うわあやっぱ怖！

とはいえ最後の便でもクロスまでとれてよかった。
こーちゃんがバカおち動画とってしてくれたの核心部

しつこくアルパイン少女マミ

クロスとれた！→

ガバとれた！→



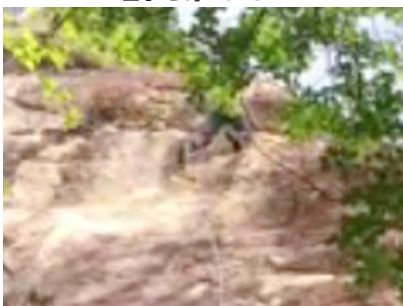
足を送って→



左手を寄せたら→



バカ落ち！！



のコマ送りキャプチャーしてみた。画像悪いし遠いし木漏れ日でよく見えないね

6/20 土 しけマミ@こーちゃん

・もみじ ・マミ ×3

6/28 日 初鳳来@平平氏

今日はなんと鳳来@平平氏。はいはい似合いませんよ。ちょうどかい岩にすっげえ圧倒されましたーメインエリア

・あんこ 10b○・入門 11a ○← 初初見11a

・マンモスくん10d ××← がっくり

知っている人が少しいてちょっとアウエー感が和らぎました。学習項目：アプローチ用短パン&化繊なTシャツ必携 (今回平平氏から拝借：とてもTHX)

7月

7/11 土 白妙橋 @お師匠、KS 島 S とう K ばやし

・やさしいのでアップ

・吉野街道11b/c ××

7/12 日 マミ @ON 口様、こーちゃん、S 介様

・くまさんでアップ(怖) ・マミ ×3

7/19・20 末端・小川 久々クラック@ O やま、おねえたま

(日)・調和、春、T&T

(月)・なでし、ネイキッドクラック、ほか2本。

7/25 土 小川@ O やま

無名岩峰・大日本○・ラブイズイージーtr × 岩の状態と前日飲みが悪かった。肩先が痛くなったので1本のみ。早めにあがったので、明野町で夕焼けのひまわり見物ができましたよ。

8月

暑すぎて準備する気も起きないというお師匠に合わせ&お小遣い不足のため、夏休みクライミングキャンプwith猫は無し。普通の週末。

8/2 (日) 小川@兄

・もみじ ・マミ×2

暑い。しけしけ。手足が決まらん！用を足そうと思ってちょっと下ったら足が滑って頭ゲキ打ちしたので回収をしてもらう。まったくもう。

つづく。

山行一覧(1) 2015年5月17日～6月17日

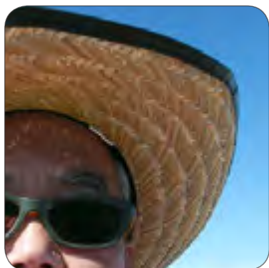
No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3848	5月17日	御坂	三ツ峠	桜井	岩トレ
3849	5月16日	奥多摩	戸倉城山～臼杵山	小堀・初鹿	トレラン
3850	5月17日	上越	谷川・一ノ倉沢／幽ノ沢	岡	写真
3851	5月17日	甲信	小川山	水野・他2	フリー
3852	5/20～22	頸城	放山	岡	写真
3853	5月24日	上越	谷川・一ノ倉沢烏帽子沢奥壁南稜	桜井	バリ
3854	5月24日	奥武蔵	名栗河又	水野・他2	フリー
3855	5/23～24	甲信	小川山	平・小田・佐藤	フリー
3856	5月25日	南ア	甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根	小堀	トレラン
3857	5月30日	山形	姥湯温泉・大日岳・薬師森	佐藤	ハイク
3858	5月30日	甲信	小川山	水野・他1	フリー
3859	5月30日	甲信	日川曲沢	平	沢
3860	5月30日	道志	高尾山	北原	ハイク
3861	5月31日	箱根	湯坂道・鷹巣山	初鹿・市瀬・他2	ハイク
3862	5月31日	奥多摩	つづら岩	平・他1	岩トレ
3863	6月1日	上越	巻機山	岡	写真
3864	6月6日	西丹沢	アドベンチャーラン	初鹿・水野	トレラン
3865	6月7日	奥武蔵	谷津川地獄谷	小堀・平	沢
3866	6月7日	甲信	三ツ峠	桜井	岩トレ
3867	6月7日	奥多摩	三頭山	北原	ハイク
3868	6月7日	甲信	小川山	水野・他2	フリー
3869	6月7日	青梅	雷電山	山里	クリーンハイク
3870	6月10日	西上州	赤城山	岡	写真
3871	6月11日	東北	那須塩原・スッカン沢／矢板県民の森・尚仁沢	岡	写真
3872	6月13日	甲信	小川山	小田・佐藤	フリー
3873	6月14日	甲信	小川山	水野・他	フリー
3874	6月14日	奥多摩	鷹ノ巣山	平	ハイク
3875	6月14日	奥多摩	大岳山	北原	ハイク
3876	6月14日	上越	谷川・一ノ倉沢烏帽子沢奥壁中央稜	桜井	バリ
3877	6月17日	茨城	筑波山	岡	トレラン

山行一覧(1) 2015年6月20日～7月24日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3878	6月20日	甲信	小川山	水野・他2	フリー
3879	6月20日	茨城	筑波山	岡	ハイク
3880	6月20日	奥多摩	御前山・鋸山	北原	ハイク
3881	6/20～21	奥多摩	雲取山	平	ハイク
3882	6/21～23	東北	鳥海山	岡	写真
3883	6月21日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
3884	6月28日	奥多摩	越沢バットレス	桜井	岩トレ
3885	6月28日	関西	鳳来	水野	フリー
3886	6月28日	茨城	宝キョウ山	岡	写真
3887	6月28日	奥多摩	カーネルロック	佐藤・平	フリー
3888	6月28日	奥多摩	赤ボッコ	初鹿	トレラン
3889	6月29日	南ア	甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根	小堀	トレラン
3890	6月30日	茨城	筑波山	岡	ハイク
3891	7/4～5	八ヶ岳	杣添尾根～横岳	岡	写真
3892	7月4日	奥武蔵	物見山	初鹿	トレラン
3893	7/10～21	ヨーロッパ	イタリア・ドロミテ	桜井	バリ
3894	7月11日	奥多摩	白妙橋	水野・他	フリー
3895	7月11日	道志	高尾山	北原	ハイク
3896	7月11日	外秩父	鐘撞堂山	初鹿	トレラン
3897	7/11～13	八ヶ岳	権現岳～ツルネ東稜	岡	写真
3898	7月12日	甲信	小川山	水野・他	フリー
3899	7月12日	奥多摩	シダクラ沢	平	沢
3900	7月12日	奥多摩	岳嶺岩・都連盟救助隊訓練	佐藤・他9	訓練
3901	7/17～8/4	南米・ボリビア		小堀・初鹿・他1	バリ
3902	7月21日		Chacaltaya (5422m)	初鹿・他1	
3903	7/22～26		Lake Chiarjota (Condoriri camp)		
3904	7月23日		Pico Austria (5320 m)	小堀・初鹿・他1	
3905	7月24日		Pico Tarija (5300m)、Peque_o Alpamayo (5370m)	小堀・初鹿・他1	

山行一覧(2) 2015年7月25日～8月16日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3906	7月25日	南米・ボリビア	Cabeza de Condoriri (5648 m)	小堀	バリ
3907	7月25日		Ala Derecha (5482 m)	初鹿	
3908	7/28～31		Illimani (6438 m)	小堀・初鹿・他1	
3909	7月19日	茨城	筑波山	岡	写真
3910	7/19～20	甲信	瑞牆山・小川山	水野・他2	フリー
3911	7/19～20	甲信	御坂四十八滝沢 / 三ツ峠屏風岩	平・佐藤	沢／岩トレ
3912	7月20日	北ア	焼岳	北原・他1	ハイク
3913	(7/24～8/17)	アジア	カラコルム・バルトロ	岡	写真)
3914	7月25日	甲信	小川山	水野・他	フリー
3915	7/25～26	甲信	小川山	平・佐藤・小田	フリー
3916	8/1～2	南ア	北岳バットレス D ガリー奥壁	佐藤・他4	バリ
3917	8月2日	甲信	小川山	水野・他1	フリー
3918	8月2日	奥多摩	逆川	平・他1	沢
3919	8月3日	東北	早池峰山	北原・他1	ハイク
3920	8月4日	東北	八甲田山	北原・他1	ハイク
3921	8月5日	東北	恐山	北原・他1	ハイク
3922	8月6日	東北	八幡平	北原・他1	ハイク
3923	8月7日	東北	秋田駒ヶ岳	北原・他1	ハイク
3924	8月8日	東北	蔵王刈田岳	北原・他1	ハイク
3925	8月8日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
3926	8月9日	奥多摩	氷川屏風	桜井・他1	岩トレ
3927	8月12日	甲州	湯村山	初鹿・市瀬・他3	ハイク
3928	8/8～11	北ア	劔岳・チンネ左稜線	佐藤・他3	バリ
3929	8/12～15	信越	雨飾山・飯綱山・戸隠山	平・他1	ハイク
3930	8月16日	奥多摩	天王岩	桜井	岩トレ



久しぶりの長期遠征。色々あって、なかなか楽しめました。ボリビアにいるときには、日本人には1人も会わなかったし。山はかなりヘビィだったけど。人の計画に乗っかるっていうのではなく、全部自分たちでやるっていうのがいいね。大変だったけど。また行きたい。次はエクアドル?? (H)

今年のお盆休みも雨続き。岩壁はパス、長期休暇を利用して日頃は行けない遠い山へ出かけた。雨飾山、飯綱山、戸隠山、と行脚。休暇のような、そうでないよ



うな…。(何泊車で寝泊まりしたことか。)でも山はやっぱいい。機会があれば、雪のあるときにも登ってみたい。(T)

今回のお題、意外とみんな書いてくれたね。私の知り合いに、「その日の記録その日のうちに♪」と、毎週詳細なクライミング分析日記を書いているおじさん(とはいえ同い年)クライマーがいるのだが、少なくとも10年はやってるなあ。ゴイスーだね。彼らも今や13クライマーだよ!(M野)

